

“飯能市の飲み水を考える” 連続学習会は

皆様のご協力の中で前半の3回を終えました。

- ◆この学習会で、水が地球を巡っていると同時に人間の作り出した有害物質、ゴミ、プラスチック、農薬、合成洗剤、トリハロメタン、殺虫剤、そして人の体を通して食品添加物なども、水と共に地球を巡っているという事実を学びました。
- ◆残る後半の学習会では、いつまでも安全でおいしい飯能の水にするためには何が問題なのかを探りつつ、対応策も見出していきたいと思います。
- ◆最後の話し合いでは、学習会をもとにして具体的に個人として、家庭として、なにができるか、又、行政に何を提案すべきかを、是非、話し合いたいと思いますので、多数、御参加下さい。

後半 連続学習会 於 富士見公民館

対象 一般市民 入場無料 保育あります。

- ◆第4回目 日時 9月28日(土) PM 1:30~ 3:30

テーマ 川を汚す主役? 生活排水

講師 水原 博子 氏

プロフィール

1960年 愛知県で地域の市民運動

1983年 国際消費者機構 I O C U 主催の日本国際消費者セミナーの事務局

1989年 日消連「アジア太平洋消費者会議」の事務局長 その後 日消連事務局長

- ◆第5回目 日時 10月12日(土) PM 1:30~ 3:30

テーマ 合成洗剤と石けん

講師 田中 輝子 氏

プロフィール

1980年代に大阪で暮らしていた頃、淀川下流の浄水場の水がカビ臭かったのがきっかけで水問題に関心を持ち、様々な活動をしてきた。

埼玉地球環境賞を受けている。現在浦和に在住。

- ◆第6回目 日時 10月26日(土) PM 1:00より

話し合い 安心して飲める水にするためにはどうしたら良いのか?



前半学習会のアンケート紹介

意見・感想ピックアップ

- ・せっけんの廃油利用の話には驚きました。
- ・水もリサイクルして再利用出来ることを知りました。
- ・水道水に含まれている問題物質が我々の生活から排出されるゴミ、他より溶け込んでいることがよくわかった。有害物質を使ったもの（人工製品）をできるだけ使用せず、少しでも環境改善につながるよう努力したい。
- ・水だけでなく、広範なテーマについてお話しくださって、今、地球上で起こっている様々なことの原因が人間の作った新しい物質によって、それを不注意に大量に使用することによっていることがわかりました。
- ・川と水をきれいにする具体的運動方法のことについて識者の知恵を借りたい。
- ・……只、私は国民として、消費者として何をしなければいけないのか、全部国が悪い、行政が悪いだけでなく、消費者、日常生活者としてしなければいけない面も話をしてもらいたかった。
- ・私達が今できることは、一人一人が自分の為だけでなく人の為に生きていくという思いがとても大切なのだと感じました。
- ・よい話ですが、宣伝力と組織力が低いのが残念です。
- ・消団連の存在を初めて知りました。市民にもっと見える活動をしてください。

飯能市の水道水に不安を感じている - 36人 (回収 39人中)

理由 - 合成洗剤が分解されずに含まれているから / 水道水がまずくなって来ている / 人口増加に伴う生活排水による汚染が心配

地球環境破壊に対して危機感を持っている - 36人

理由 - ごみの増加 / 原発の行く末 / 水、土壌汚染 / 温暖化 / 森林破壊 / オゾン層破壊 / 乱開発 / 緑地の消失 / CO₂ の増加

各学習会のテーブルがあります。

ご希望の方には貸し出します。

消費者という共通した立場で飯能市の市民生活を
考えていきましょう。どんな小さな団体さんでも
参加大歓迎です。お待ちしております。
見学もどうぞ。毎月の第二月曜日、
市役所の会議室で、連絡会を
行っています。



1996年9月